



## 未来につなげたい、大切な記憶

UNFORGETTABLE MEMORIES LEADING US FORWARD

### 長島愛生園 登録有形文化財追加申請

1930(昭和5)年の開園時に建設され、2019(平成31)年3月に国登録有形文化財(建造物)に登録された5棟に加えて、旧患者売店、恵の鐘(鐘楼堂)、汽缶場(ボイラー棟)の3棟を9月に瀬戸内市に申請し現在文化庁で審査中です。

旧患者売店



恵みの鐘

汽缶場



昨年の8月22日(木)に実施された文化庁文化財調査官による現地調査(歴史的建造物11件)の結果、9件について今後登録の可能性が認められました。2件については申請前に修復や活用に向けた調査と協議が必要であるものの、残る7件について追加申請を行うこととしましたが、そのうちの準備の整った3件について先行して申請しました。

(文化財調査官調査実施のその他建造物)

赤字：追加申請予定 青地：修復や活用に向けた調査及び協議

恩賜記念館、十坪住宅「徳島路太利」、旧新良田治療分室、

岡山県立邑久高等学校旧新良田教室(講堂、門柱、女子寄宿舎、男子寄宿舎、特別教室)

### 人権啓発資料法務大臣表彰

瀬戸内市ダイバーシティ推進室作成のハンセン病問題啓発動画が、令和6年度中に全国の地方公共団体が作成した人権啓発資料(825点)の応募作品の中から、最優秀賞に選ばれました。

YouTubeからご覧いただけます。

[https://www.youtube.com/watch?v=AWeinRr\\_KvQ](https://www.youtube.com/watch?v=AWeinRr_KvQ)



## 長島愛生園「監房跡」保存修復・整備活用工事監理業務

8月8日から長島愛生園では西部地区法面整備工事を実施しています。  
現在、電柱の移設、準備工が終了し、「監房跡」の空隙を充填する工事が進められています。この工事は法面の安全角度確保と「監房跡」の見学コースとしての環境を整備するものです。

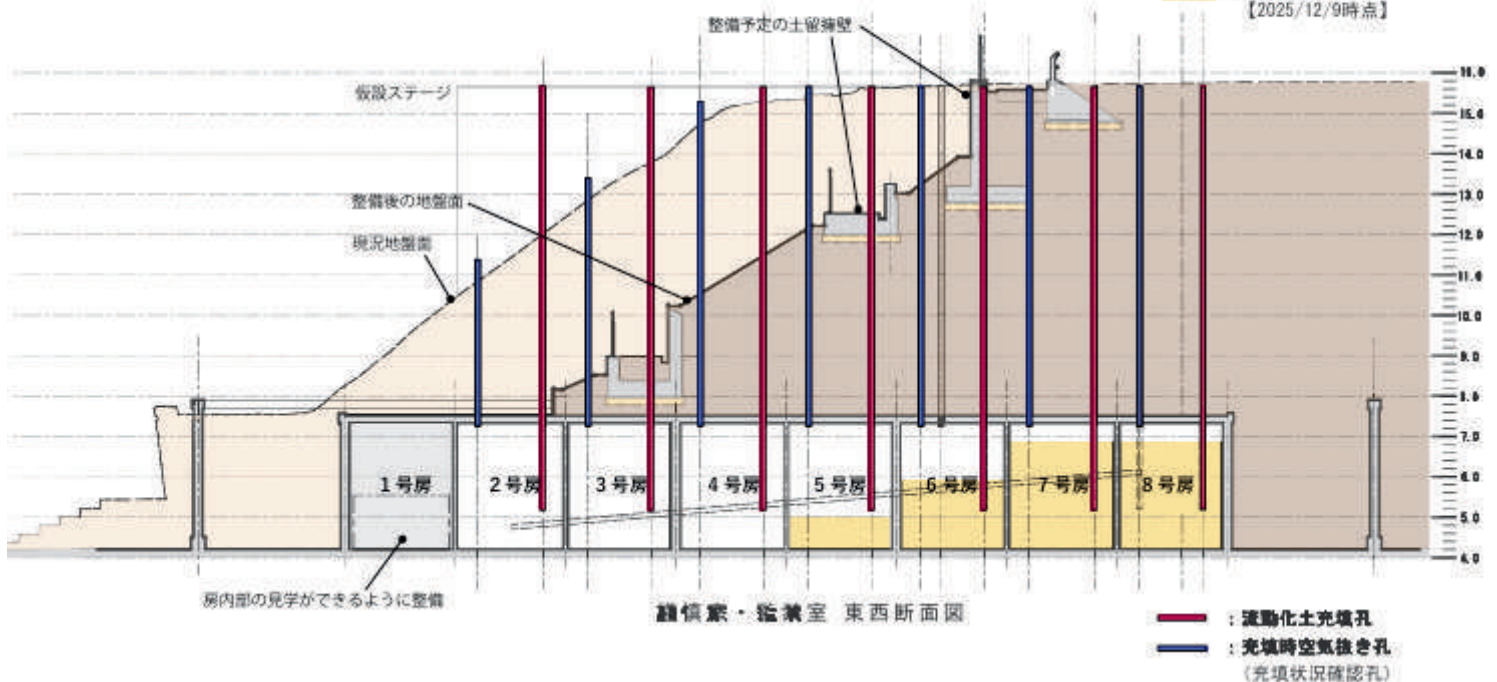
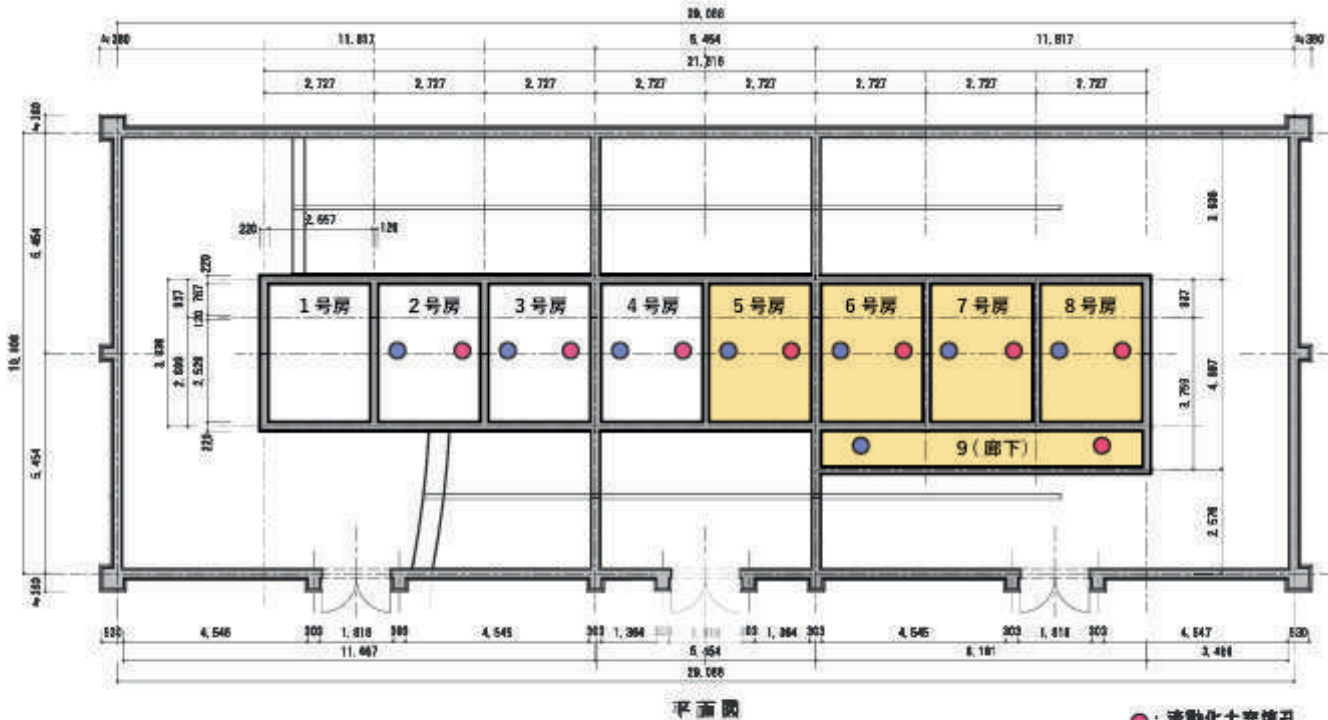
NPOでは工事監理業務を行い、基礎部分に位置する「監房跡」が歴史的建造物としての価値を損なわないよう支援しています。

今後、土壌改良、土留工事、階段等の設置が実施され、完成後は監房内部の見学も可能となります。



7号房充填中の様子

監房内部への流動処理の充填状況





## 5月2日(金)岡山市北区表町に啓発室オープン！

ハンセン病やハンセン病療養所、世界遺産登録に向けた啓発の拠点として一般の人が集う岡山市中心部表町商店街に「詩人 永瀬清子とハンセン病文学の読書室」を開設しました。

清子は、病気に対する社会の偏見が強かった戦後間もない頃から正しい知識を持ち、40年もの長い間長島を訪問し療養所入所者に詩作の指導を行っていました。そんな清子やハンセン病文学に気軽に触れる常設のスペースです。11月末までに1752名、毎日11名の方が訪れています。

簡単なお飲み物をご用意してお待ちしています。ぜひお立ち寄りください。

### イベントの抜粋

「病棄て」  
「長島で80年、今思うこと」  
「永瀬清子と長島、詩の朗読」  
「世界遺産を目指して」  
「ノルウェーと長島」  
「ハンセン病訴訟と法曹界」  
「コロナ感染症とハンセン病」  
「故郷に帰った元患者、宇佐美治さん」  
「永瀬清子とハンセン病療養所」  
「ハンセン病家族訴訟を追って」  
「ハンセン病患者と解剖記録」

原憲一  
中尾伸治  
横田都志子  
武久顕也  
山下晴海  
井上雅雄  
山本典良  
萩原雅恵  
沢知恵  
米沢秀敏  
竹下美保  
(役職敬称省略)

## 表町に 詩人 永瀬清子と ハンセン病文学の 読書室を開設

ハンセン病療養所～長島の世界遺産登録を目指す NPO 法人「ハンセン病療養所世界遺産登録推進協議会」が、岡山市の表町商店街に、読書室を5月2日(金)に開設します。

読書室には、詩人 永瀬清子の詩集や、関連書籍を多数取り揃えています。また、日本最初の国立ハンセン病療養所「長島愛生園」で綴られた小説や加筆、詩などのハンセン病文学も揃えられています。入館は無料で、誰でも入室できます。

また、読書室には大型モニターが設置され、まるで100年前で探検されているような臨場感で、グラフィックと映像の音楽を楽しむことができます。



と き：5月2日(金) 午前10時～  
場 所：岡山市北区表町3丁目6-35  
(旧時計台北30m)

なお、翌日の5月3日(土)には、RSKラジオ番組「永瀬清子の世界」の小林章子アナウンサーによる詩の朗読会も開かれます。  
朗読会 ▶ 11:00～、14:00～ 入場無料



開館 木・金・土  
12時～18時

イベント情報はこちら

※毎週土曜日14時～講演、朗読、音楽  
など様々なイベントを実施しています



## でんしょう愛生館11/21(金)オープン



扉を開けると「この海はどう見えますか？」と書かれた一面の長島から望む青い海(写真パネル)がお迎えします。

VR(仮想現実)シアターでは、あなたは病名を告げられた10歳の少年、家族、そして近隣住民の立場からハンセン病を見つめます。枯れ木ばかりの部屋があり、その中に1本だけ青い葉のついた木があります。葉の数は85枚。なぜ他の木には葉がついていないのでしょうか？

入所者の人たちはどんな思いで青い海を見ていたのでしょうか？そして施設を体験したあなたの目にこの海はどう見えますか？



最新の映像設備や資料群を活用した  
体験型展示施設です

開館 午前9時半～午後4時  
(月曜を除く)

入場無料 ・ 予約不要

未来につなげたい、大切な記憶

## 後世に伝えたい ハンセン病の歴史 プロジェクト

世界遺産登録を目指して

このプロジェクトへの寄附額： 3,538,000円

(2020年8月27日以降のポータル経由のみ)

「後世に伝えたいハンセン病の歴史プロジェクト」とは？

本誌でご紹介した本法人の活動経費は、岡山県瀬戸内市に寄せられたふるさと納税でお支えいただいています。本年度も多くの皆様からご寄附をお寄せいただき、心から感謝申し上げます。ふるさと納税の寄附先を検討中の方がおられましたら、私どもの取り組みをご紹介します。

岡山県瀬戸内市ふるさと納税特設サイト

<https://setouchi-cf.jp/nagashima/>



### ご寄付いただいた皆様（～R7.11.30）

両角 晃一 様	金額非公開
匿名様13件	金額非公開
表町推進室(寄付金箱設置)	122,186円
合計	7,191,686円

### 2025（令和6）年度 年次報告書

昨年度の本法人の活動をまとめた年次報告書（フルカラー24ページ）を作成しました。ホームページよりご覧いただけます。



本誌をご覧の皆様で、ご希望の方には郵送いたします。資料請求フォームよりお気軽にご連絡ください。



### 長島愛生園見学バス

**運行日** 2026年1月10日、2月14日、3月14日、4月11日（いずれも土曜日）  
（JR赤穂線邑久駅発着）

**料 金** 無料

**定 員** 45名（先着順）

**行 程** 12:30 邑久駅発  
～車中でビデオ視聴～  
13:00 愛生園着  
長島愛生園歴史館・歴史回廊 見学  
14:20 でんしょう愛生館 見学  
15:50 愛生園(納骨堂下)発  
16:20 邑久駅着



**申込先** 長島愛生園歴史館  
<http://www.aisei-rekishikan.jp/tour.php>  
TEL：0869-25-2212（内線：541）



編集・発行  
特定非営利活動(NPO)法人  
ハンセン病療養所世界遺産登録推進協議会事務局

〒701-4501岡山県瀬戸内市邑久町虫明6539番地  
TEL：0869-24-8872 FAX:0869-24-8873  
090-5014-9953(携帯)

email：hansen-wh.jp@aioros.ocn.ne.jp

開所日：火・水・木／金・土(岡山市表町)

閉所日：日・月曜日、祝日、振替休日、年末年始

